

リーディングDXスクール事業【実践事例】

千葉市立川戸中学校

【取組内容②】「録音・録画の機能を活用した協働的な学習」

スライドで録音・録画を活用することで、自分自身や他社との協働的な学習の実践



【成果】 スライドの音声録画の機能を使用して、自分の声を録音し聞くことができるようにした。録音した音声を聞き直し、生徒は発音や表現を確認した。こうした練習を生かし、自分で選んだ国を紹介するプレゼンを行った。プレゼンの発表時とそれまでの練習時の発音を聞き比べることで、自己評価や他己評価を容易に行うことができ、評価時のコメントも具体的に記載できた。

<外国語>



- ①7×9 6 3
- ②8-5 3
- ③6+9 1 5
- ④8+4 2
- ⑤4×6
- ⑥20+5
- ⑦9-6
- ⑧42+5
- ⑨36-4
- ⑩8×6

- ①操作
- ②発信
- ③理想
- ④簡単
- ⑤場面
- ⑥具体的
- ⑦抽象的
- ⑧特徴
- ⑨基準
- ⑩縮小



【成果】 特別支援学級においてもスライドを共同編集できるようにすることで、オンラインで画面を通して教室にいない生徒とも学習することができた。社会科では国名を正しい国の位置に移動させたり、数学や国語の学習でも計算や漢字の答えを出し合うなど、スライド内で協働的な学習ができた。共同編集が可能になることで、多くの人数で同時に編集できるようになるため、教室以外の場所にいる配慮が必要な生徒にとっても、一緒に学び合う感覚を味わうことができた。

<特別支援教育>